

2021年7月度幹事会報告

日時：2021年6月29日 15:00～17:00

I 会計、総務部より

- ・会員動向：退会1名、会員161名
- ・会計報告：収支報告あり

II 活動・行事関係

- ・普通救命講習会は中止
 - ・3ヵ月スケジュール 五輪開催で祝日の移動
- ※ならやまプロジェクト関係

*7月活動予定

- ・協働活動は椎茸ホダ木の本伏せ
- ・田のコナギ除去はエコGで行う
- ・自然観察路に倒木多く一般会員は立入禁止
- ・学びの森広場の抜根整地に着手
- ・第2駐車場の北側には駐車しない
- ・夏だ休みだ！里山で遊ぼうイベント開催
- ・モニュメントについて：機関車とウエルカムモニュメントを学生と共同制作で進める
- ・参加者が減少しており、全体に作業が停滞気味

III 企画、助成金事業案件

- ・図録：7/8活動後に会議をする。子供たち対象とし発展的学習分は追加冊子を考える
- ・記念誌：外部への寄稿依頼先決定
5年間を中心に振り返る座談会を企画
- ・会員向けアンケート：会報誌8月号に同封
- ・各種助成金についての状況説明あり。

IV 広報、関係

- ・ネイチャーなら8月号編成案の確認他

V 報告、連絡事項、その他

- ・月例研修会 8月は中止、10月大台ヶ原一泊研修予定
- ・自然教室 8月ツバメの罅入り検討中

8月度幹事会：7月27日(火) zoom 会議



<未熟な編集者>

携帯やパソコンのメールで文章を作るようになって、自分で文字を書くことがほとんどなくなっている。何かの申し込みなどで、名前だけ自筆している有り様だ。また、書かないことにより、文章を読む力も低下しているのではと不安になる。

会報誌で皆さまの原稿を編集させていただいている者として、申し訳ない思いがする。

一つの物事に対しても、感じ方、表現の仕方など、人それぞれ違うし、さまざまな意見もある。

「コロナ禍により、新しい生活スタイルが生まれ、交友や考え方が変化し、古いものが一気に崩されてそれも前進になった」という記事を読んだ。コロナウイルス流行が悪いことばかりではないと奇妙に納得してしまったが、そんな理解をするだけでいいのだろうか？新しい生活スタイルとは？崩された古いものとは？何が前進なの？もっと深く読み取れないことにイラつく。

寄せられる原稿はもとより、さまざまな意見を正しく理解し、執筆者の思いを大切に編集しなければ・・・その気持ちだけは強く持ちたい。



会員動向

入会：7月15日 清原正彦

発行：奈良・人と自然の会

URL : <http://www.naranature.com>

編集代表 Mail: editor@naranature.com

表紙写真：里山での自然とのふれあい

～ウラジログライダーは飛ぶ！～

7月17日夏だ！休みだ！里山で遊ぼう！①イベントで里山の自然とのふれあいを楽しむ子供たち